



オリーブ 便り Olive News

2021.04.01

No. 442

香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 田宮 隆

基本理念 患者さんの権利を尊重し、良質・安全な医療を提供するとともに、医学の教育・研究を推進し、医療の発展に寄与します。

臨床検査技師長就任の挨拶

香川大学医学部附属病院 検査部 臨床検査技師長 木内 洋之



この度、荒井健臨床検査技師長の後を受け、本年4月1日より臨床検査技師長を拝命いたしました。この場をお借りしてご挨拶申し上げます。

現在、当検査部は29名の臨床検査技師、4名の受付・事務職員とともに、臨床検査業務（生化学、血液、一般、免疫血清、感染症、生理機能、輸血）を行なっています。検査部の役割は、大学病院の責務としてあげられる「診療」・「教育」・「研究」が円滑に進行するように臨床検査業務を通じて支援することと考えています。このため以下のことを目標に掲げております。

1. 診療について

臨床検査の品質の向上とグローバルな標準化を図り、医師、患者の満足度の向上を目指すために、日本適合性認定協会による国際評価であるISO 15189「臨床検査室-品質と能力に関する要求事項」の取得を目指し、検査部全員が一丸となって取り組んでおります。

2. 教育について

教育機関として医学部の学生の教育をおこないます。また臨床検査技師養成大学からの臨床実習、地域医療機関の臨床検査技師等からの研修を積極的に受け入れることで、地域の臨床検査技師の育成に努めます。

3. 研究について

大学病院のメディカルスタッフの一員として、チーム医療に積極的に参画し、また診療科との共同研究、体外診断用医薬品製造販売業者との共同研究も活発に行いたいと思います。

医療技術はめまぐるしく進歩しており、臨床検査技師に要求される能力も多様化しております。当検査部も乗り遅れることなく、患者や医療従事者の皆様のお役に立てるよう努力して参ります。今後とも皆様方のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

薬剤部の紹介

香川大学医学部附属病院 薬剤部長 小坂 信二

患者さんが入院される場合、薬剤師は服用している薬の確認、アレルギー歴の確認を行い、病院の中で使用できる薬について主治医に情報提供を行っています。その時に服用している薬の手がかりとなるのが「お薬手帳」です。これは全国どこの病院や薬局でも受け取ることができ、内容を更新することができます。また、スマートフォンで確認できるデジタルお薬手帳も存在します。これは通常の診療以外で災害時などの緊急時にも自分の内服薬を伝える重要な手段として活用されています。また自分のお薬手帳をお持ちでない方は、次回お薬を受け取る際に薬剤師にご相談ください。

また、外来で治療を受ける患者さんには、院外の保険薬局の薬剤師と連携して、副作用の確認や残薬の調整に携われるような取り組みも行っています。病院での血液検査の結果などは院外薬局の薬剤師にとっては、患者さんの状態を知る貴重な情報となりますので、積極的に検査結果を提示して、疑問に思うことを相談してほしいと思います。

昨年のTVドラマ『アンサング・シンデレラ 病院薬剤師の処方箋』はご覧になりましたでしょうか。アンサングとは英語で「褒めたたえられない」という意味で、薬剤師が病院の中では、「縁の下の力持ち」と言われていることに着目したタイトルとなっていました。薬剤師は医師、看護師に比べると病院で働いている人数も少なく、患者さんに接する場面も多くありませんでした。しかし、近年では当院でも各病棟に専任の薬剤師が常駐しており、安全な薬物療法のために日々努力しております。患者さんにとって「アンサング」な薬剤師から今まで以上に「頼られる薬剤師」を目指して、当院薬剤部並びに地域の薬剤師と協力して安心・安全な薬物療法に貢献したいと考えています。



臨床栄養部では、入院中も季節を感じていただけるように毎月行事食を提供しています。今年の節分には巻き寿司や福豆、バレンタインデーにチョコレートプリン、ひなまつりにはちらし寿司とひなあられを提供いたしました。



NICUは「家族のはじまりの場」

香川大学医学部附属病院 総合周産期母子医療センター NICU(新生児集中治療室)

新生児集中ケア認定看護師 副看護師長 西条 順子

看護師 小川 美和

NICUでは、早産で小さく生まれた赤ちゃんや病気を持って生まれた赤ちゃんとその家族に対し、「新生児の障害なき成育」に向けた看護ケアと「家族関係形成」のための支援に取り組んでいます。

赤ちゃんは自分の気持ちを言葉で訴えることができません。赤ちゃんの出すわずかなサインを読み取りアセスメントすることで、赤ちゃんの代弁者としての役割を果たしています。赤ちゃんにとってNICUは「治療の場」であるとともに「生活の場」であることを念頭に、赤ちゃんのニーズに寄り添った心地よい環境をめざしています。出生直後の赤ちゃんは胎内から胎外環境へ劇的な変化を遂げ、在胎週数が浅く体重が小さいほど新しい環境に適応することが、より困難な状況にある時期です。胎児姿勢を原則としたポジショニング、光や音の調整など、ディベロップメンタルケアと呼ばれる赤ちゃんの健やかな成長・発達を目標とするケアにも積極的に取り組んでいます。

また、私たちは他職種と連携しながらファミリーセンタードケアを推奨しています。NICUは「家族のはじまりの場」でもあります。病気を抱えて生まれた赤ちゃんをもつ両親は親子分離を余儀なくされ、心理的に危機的状態に直面しています。NICUでは両親がいつでも赤ちゃんに触れ合う機会を作り「親子の絆」ができるように24時間面会を実施しています。しかし、新型コロナウイルスの影響で面会制限を余儀なくせざるを得ない状況になりました。面会制限がある中でも両親が安心して子どもと笑顔で過ごせるように取り組んでいます。今後も「それぞれの家族のはじまりの場」を大切に支援できるよう努力していきたいと思ひます。



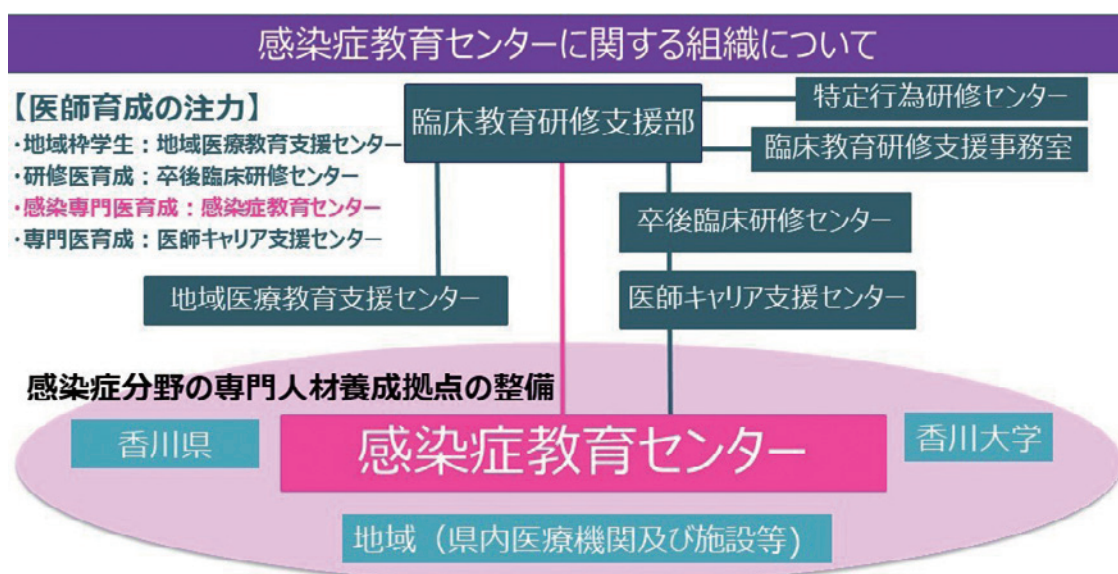
感染症教育センターが設置されました

香川大学医学部 総務課

この度4月1日付けで、当大学医学部附属病院に感染症教育センターが設置されました。

医学部附属病院では、既存の臨床教育研修支援部において、卒前・卒後及び専門教育を連動させたシームレスな教育研修を行っております。

こうした土壌を基盤に設置したこのセンターは、新型コロナウイルスの感染拡大を起因とした医療崩壊を招きかねない現況を踏まえ、医学部及び医学部附属病院の有する教育研究基盤を基礎として、感染症分野の専門人材の養成拠点を形成し、感染症分野の専門人材を安定的に輩出するとともに、医療従事者の感染症対策に関する知識・スキルの向上を図っていくことで、香川県全体における感染症対策・医療支援・地域医療向上に貢献することを目的としております。



臨床研究に関するご案内

香川大学医学部

倫理委員会委員長

治験審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院

臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織（内視鏡検査で検査のために採取した組織等）又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究（研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究）に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究（過去の事象について調査する研究）の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL

<http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

香川大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 助教 佐藤 誠祐

皆さん甲状腺という臓器を知っていますでしょうか。あまり耳慣れない臓器かもしれませんが、ホルモンを分泌することで身体の代謝を調節する役割を担っています。甲状腺は蝶のような形をしており、首の正面、やや下側に位置し、正常の甲状腺は重量がわずか20～30g程度の小さな臓器です。この小さな甲状腺が腫れてくる場合があります、その多くは慢性甲状腺炎、別名橋本病です。

橋本病は橋本策先生が1900年初頭に初めて報告し、詳細なレポートが評価され橋本病と呼ばれるようになりました。日本人の名前が付いた病気で世界的に通用するものの一つです。男性の10倍女性に多い疾患であり、報告によっては日本人女性の20人に1人が罹患しているともされ、非常に多い病気です。

橋本病は自己免疫の異常により白血球の1種であるリンパ球が甲状腺に浸潤することで炎症が生じ、甲状腺全体が腫れてくる自己免疫疾患です。他の自己免疫疾患、1型糖尿病や膠原病にかかっている人は橋本病が隠れている、あるいは今後発症する確率が高いとされています。

初期は甲状腺の腫れ以外には目立った症状がみられませんが、進行してくると甲状腺ホルモンの低下により代謝が落ちてくることで冷え性、便秘、浮腫み、倦怠感といった症状がみられます。高齢者の方が進行してくると認知機能の低下がみられ、認知症と間違われることもあり注意が必要です。治療は錠剤である甲状腺ホルモン製剤の内服です。軽症の橋本病はホルモン補充療法の対象とならないことが多いですが、妊娠を考えている場合は対応が変わってきます。ごくわずかな甲状腺ホルモンの低下が妊娠を困難にすることが分かっているからです。このため、最近では婦人科でも不妊の原因検査として甲状腺ホルモンの測定が行われるようになってきているのですが、不妊の全例で調べるまでには至っていないのが現状です。この記事を読まれている方や、周りの方で不妊にお困りであり甲状腺ホルモンを測定したことがないという方、甲状腺機能低下を疑う症状にお困りの方がいましたら一度医療機関にご相談ください。

毎日新聞「四国健康ナビ」2020年4月7日掲載分

イベントカレンダー 2021.4～2021.6月 予定表

月日	場所	名称及び内容	担当	連絡先
6/5 土、6日	サンポート高松 かがわ国際会議場	第116回・第118回日本循環器学会 中国四国合同地方会	心臓血管外科	(087)891-2186

イキイキさぬき健康塾

香川大学医学部附属病院 医療セミナー

イキイキさぬき健康塾は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み当分の間、対面でのセミナー開催を改めケーブルテレビ及び医学部附属病院YouTubeチャンネルでの配信を実施致します。詳細は決まり次第ご案内申し上げます。



詳しくはこちら

編集委員会 (50音順)

(2021年3月現在)

阿部(看護)、荒井(検査)、井町(外来)、樫原(管理)、小坂(薬剤)、筒井(経営企画)、常森(病棟)、仁尾(医療支援)、前川(医事)、南野(副病院長)、門田(放射線)、横井(医療情報)、横川(総務) [委員長 田宮病院長]